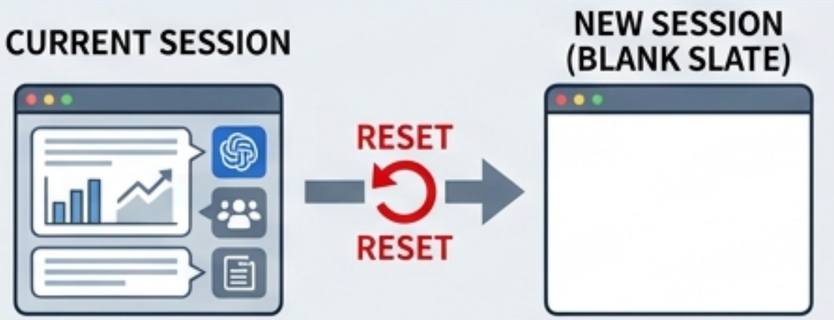

Claudeを
「単なる検索ツール」から
「究極の相棒」へと
進化させる方法
毎回ゼロから説明する手間にサヨナラ。
文脈を共有した「思考のパートナー」の作り方
Gemini Notebook



【AIの「作業メモリ」の罠】

新しい会話を開始した瞬間、AIの記憶は完全にリセットされ、真っ新な状態に戻ります。
これが「**毎回イチから説明させられる**」原因です。



Gemini Notebook

【Before】一問一答型



【After】パートナー型（Project）

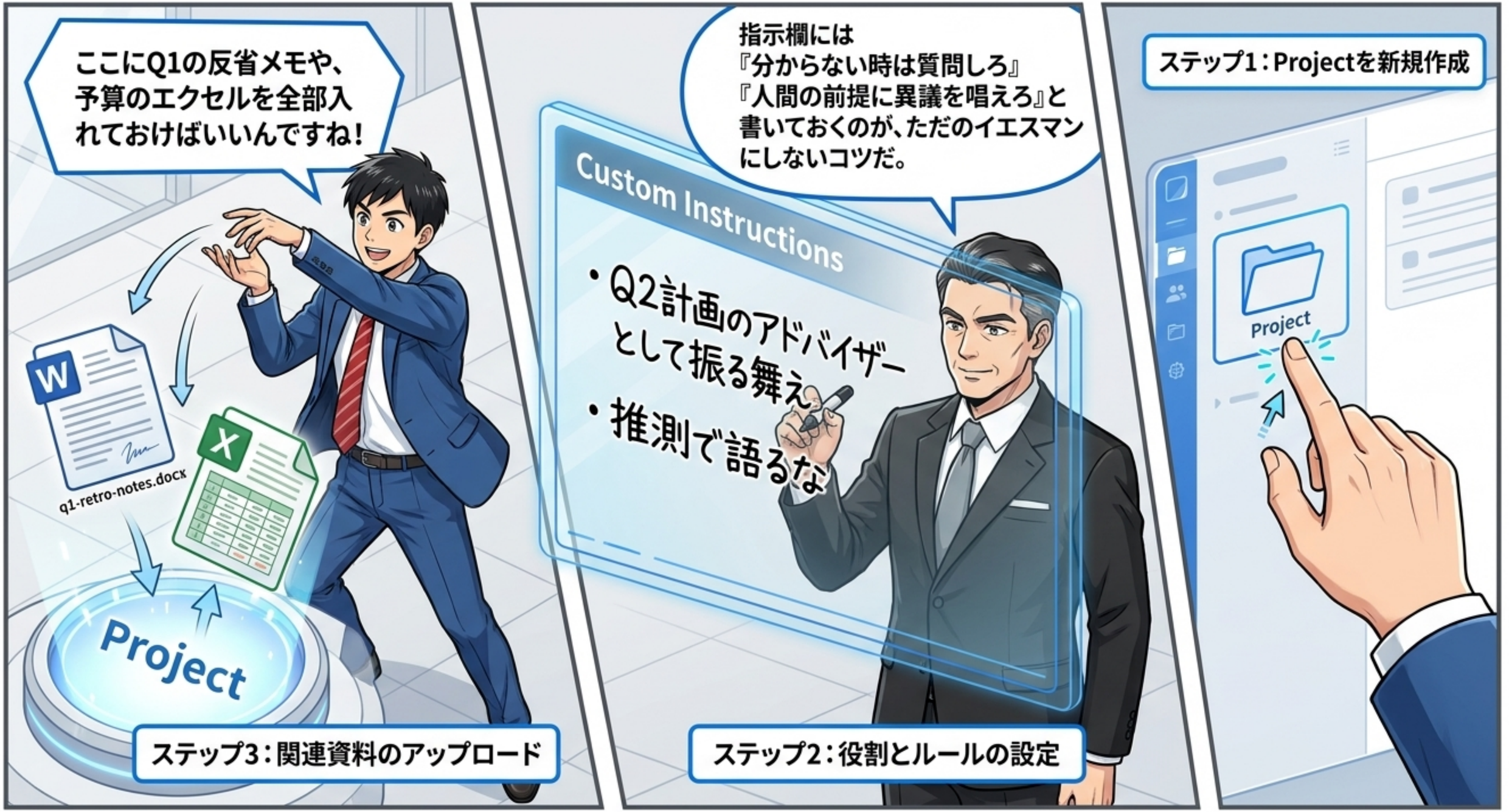


一発で答えを出そうとするから疲れるんだ。Claudeに『プロジェクトの全体像』を丸ごと渡して、作戦指令室を作ってみろ。

背景説明の手間がゼロになり、対話を重ねるほど高品質なアウトプットが出るぞ。

Anthropicの研究では、AIと対話を往復（反復と改善）させることで、アウトプットの質が劇的に向上することが分かっています。

Gemini Notebook



Gemini Notebook

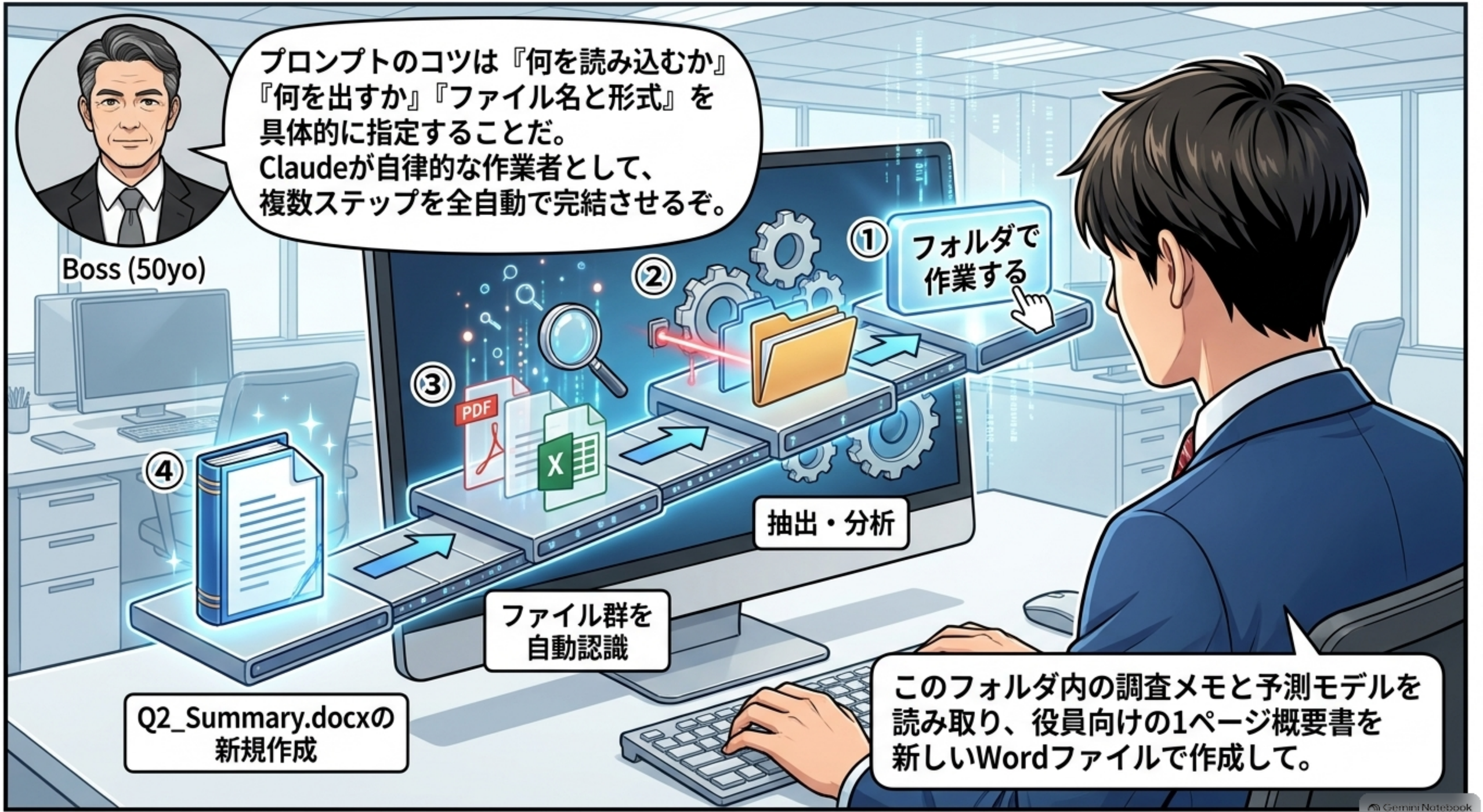




【解決策】 アップロードは本当に必要な「コア資料（3〜5点）」に厳選すること。また、方針が変わった際は古いファイルを放置せず、常に「最新の一次情報」のみを保つことが重要です。

Gemini Notebook

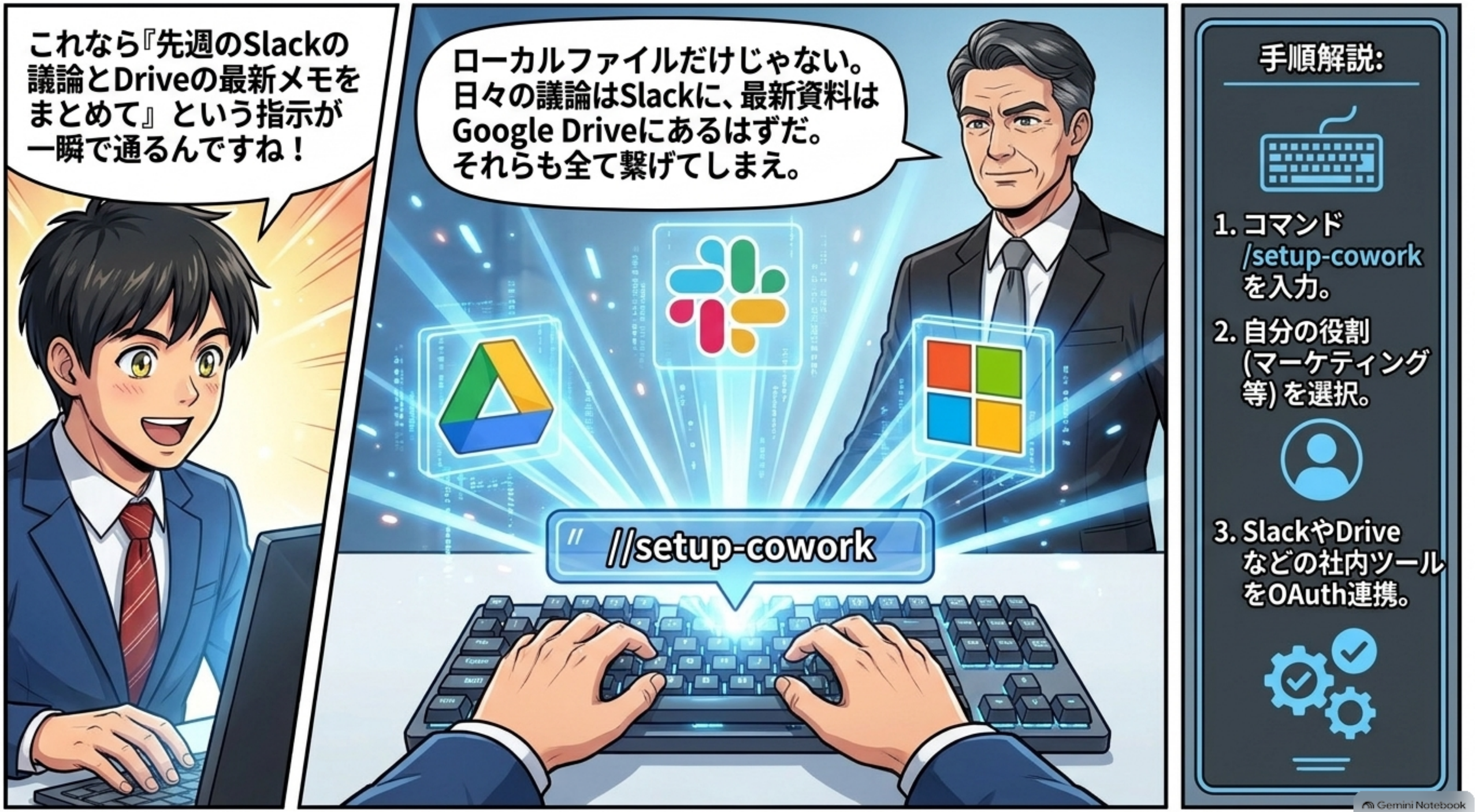

【Coworkモード（自律作業）】
PCのローカルフォルダを「作業場所」として指定し、
直接ファイルを読み書き・新規作成する！
Q2計画案.docx
Q2計画フォルダ
えっ…指示を出しただけで、
勝手に手元のフォルダに
Wordファイルが作られてる!?
【従来のChatモード（一問一答）】
テキストで答えるだけ。手作業でのコピペが必要。
COPY
PASTE
カチカチ
カチ
イラ
もう限界！
Gemini Notebook


プロンプトのコツは『何を読み込むか』
『何を出すか』『ファイル名と形式』を
具体的に指定することだ。
Claudeが自律的な作業者として、
複数ステップを全自動で完結させるぞ。
Boss (50yo)
① フォルダで作業する
② 抽出・分析
③ ファイル群を自動認識
④ Q2_Summary.docxの新規作成
PDF
X
このフォルダ内の調査メモと予測モデルを
読み取り、役員向けの1ページ概要書を
新しいWordファイルで作成して。



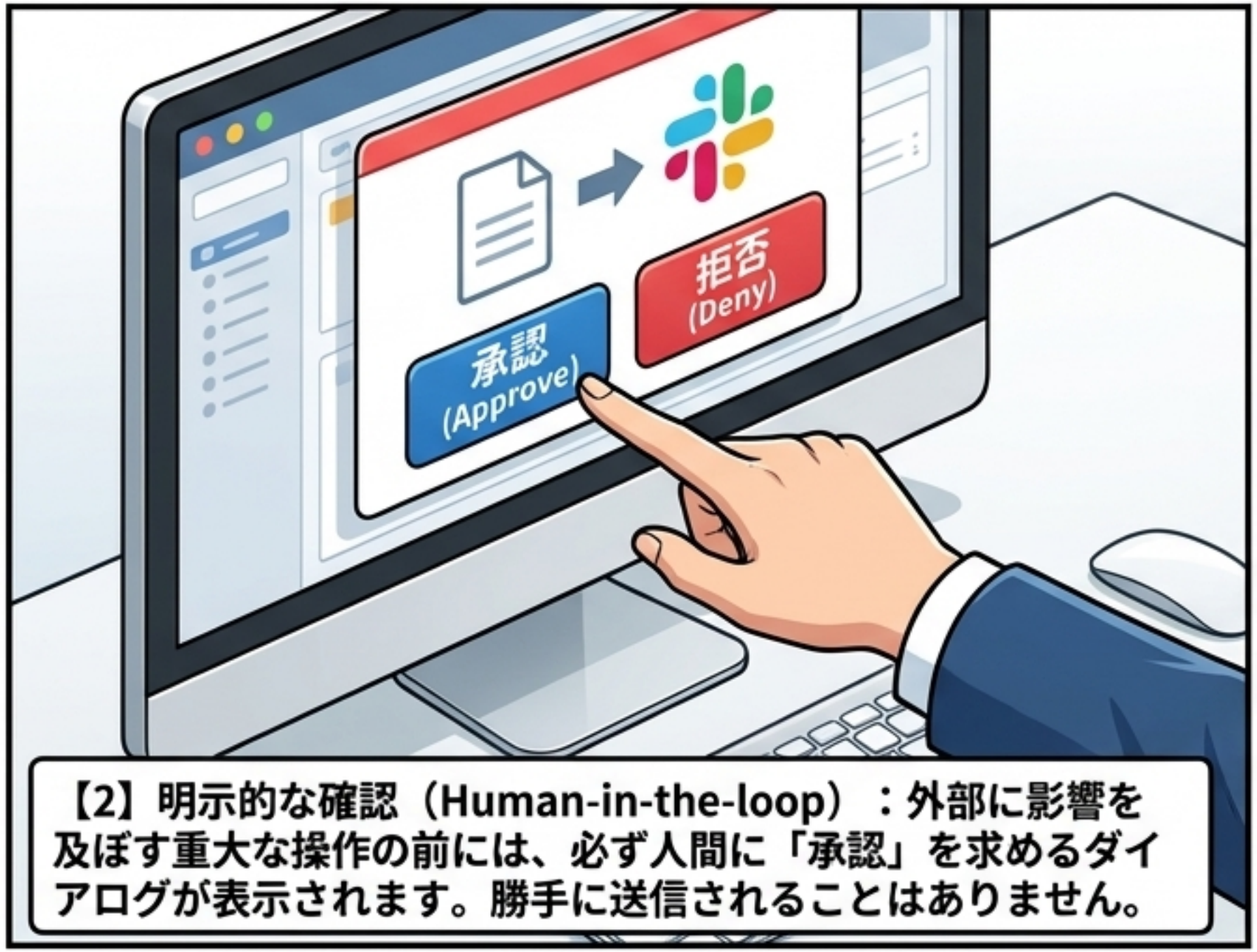
【アーティファクト効果（Artifact Effect）の罠】
Anthropicの研究によると、AIがデザインの整った完成品（アーティファクト）を出力すると、人間は「完成している」と思い込み、ファクトチェックや推論への疑問を著しく怠る傾向があります。
対策：見た目が完璧でも、必ず一次資料と照らし合わせる。AIに「結論の根拠となった元の資料の該当ページを教えて」と追加質問し、根拠を追跡させましょう。

Gemini Notebook


これなら『先週のSlackの議論とDriveの最新メモをまとめて』という指示が一瞬で通るんですね！
ローカルファイルだけじゃない。日々の議論はSlackに、最新資料はGoogle Driveにあるはずだ。それらも全て繋げてしまえ。
//setup-cowork
手順解説:
1. コマンド /setup-cowork を入力。
2. 自分の役割 (マーケティング等) を選択。
3. SlackやDriveなどの社内ツールをOAuth連携。

でも、AIが勝手にSlackへ変なメッセージを投稿したりしないか不安です…

安心しろ。エンタープライズの連携は堅牢だ。

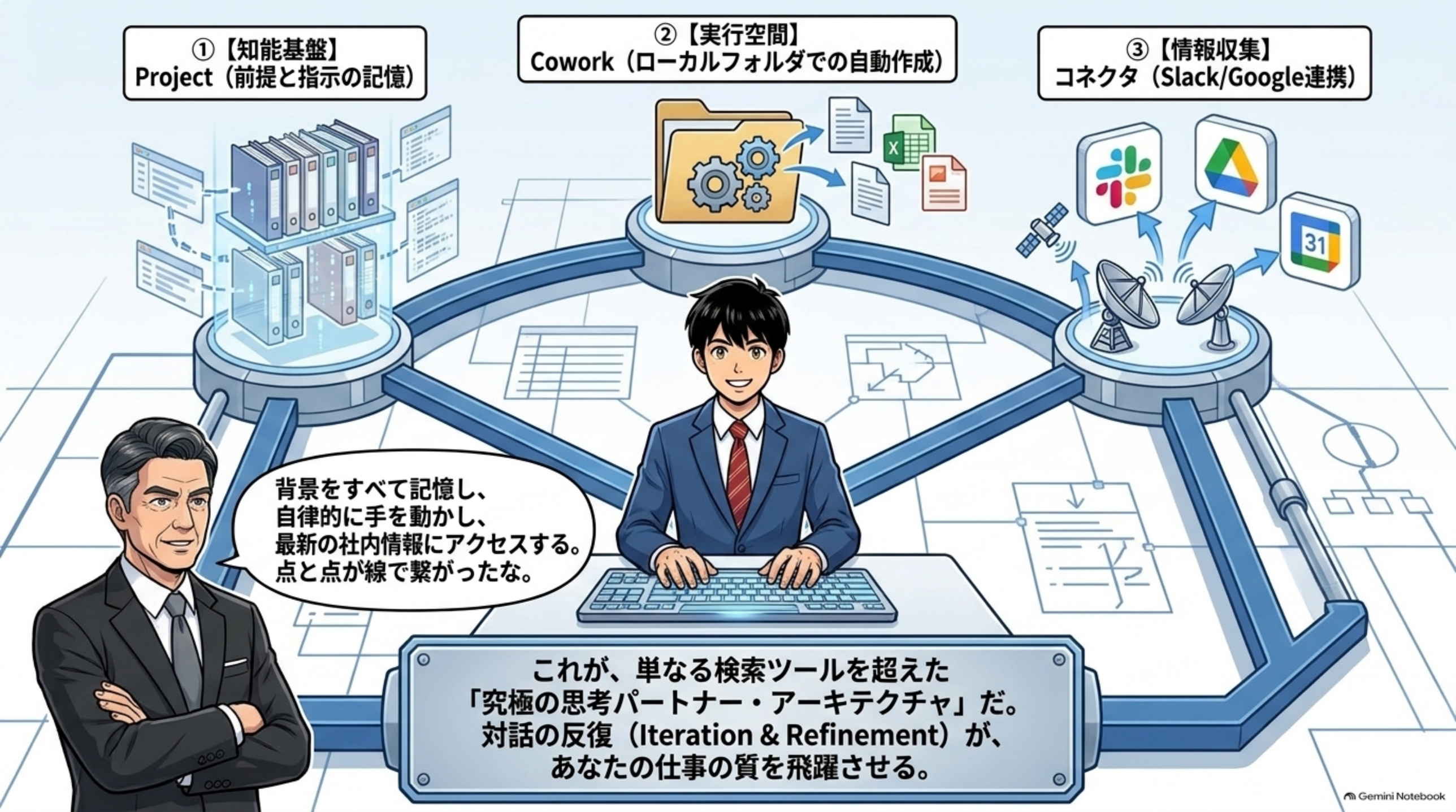


【2】明示的な確認（Human-in-the-loop）：外部に影響を及ぼす重大な操作の前には、必ず人間に「承認」を求めるダイアログが表示されます。勝手に送信されることはありません。



【1】2段階ゲートモデル：管理者が組織全体で有効化し、さらに個人がログイン認証しない限り連携はされません。

Gemini Notebook


①【知能基盤】
Project（前提と指示の記憶）
②【実行空間】
Cowork（ローカルフォルダでの自動作成）
③【情報収集】
コネクタ（Slack/Google連携）
背景をすべて記憶し、
自律的に手を動かし、
最新の社内情報にアクセスする。
点と点が線で繋がったな。
これが、単なる検索ツールを超えた
「究極の思考パートナー・アーキテクチャ」だ。
対話の反復（Iteration & Refinement）が、
あなたの仕事の質を飛躍させる。
Gemini Notebook

今すぐ試せる！5分間ファーストアクション



- [ ] 1. PCのデスクトップに「テストプロジェクト」フォルダを作成する。
- [ ] 2. 関連資料（PDF等）を1つだけそこに入れる。
- [ ] 3. Claude Desktopアプリで「Cowork」モードを選択する。
- [ ] 4. 「フォルダで作業する」で作成したフォルダを選ぶ。
- [ ] 5. 以下のプロンプトを送信する！

>_

「このフォルダ内の資料を読み込み、
要点をまとめた1ページの要約書
(Summary.docx) を作成して。」

今すぐやってみよう！

Gemini Notebook